

授業だより No. 5

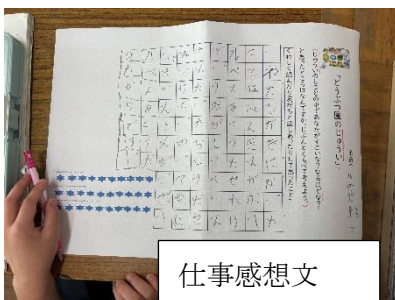
押水第一小学校
令和6年 9月 24日

2年研究授業 国語「どうぶつ園のじゅうい」

(授業者 井表)

9月24日(火)に2年国語「どうぶつ園のじゅうい」の研究授業を行いました。授業後には、授業整理会、中能登教育事務所の黒崎指導主事からの指導助言がありました。

【授業の様子】



【指導助言～黒崎指導主事より～】

単元デザイン

- 単元のゴールを考えて常に「何のために」学習しているかを考える。1時間の軸と単元を通しての共通の軸がずれないように、常に問いかけていく。特に単元導入時の児童の感想を大切に単元を構想していく。

考えの形成

- 考えは固定されたものでなく、常に変わっていくものである。思考ツールダイヤモンドランキングが活かされていなかった。ダイヤモンドランキングを動かしながら、なぜそれを選んだのか根拠(仕事感想文)を元に話し合えればよかった。子どもたちは、教材を読み込んでおり自分の考えを話し合える力があつたように思う。友達のことを聞いて考えの変容も認めていく。
- 対話については、自分の考えをもつために、いくつもの手立てがされていた。グッドモデルを出し、ペアからグループへと話ができていてよかった。「例えば」「つまり」などの対話に使う言葉もクラスに広まっていければよい。

個別最適化

- 考えがもてない児童のためにヒントカードが端末に用意されていた。しかし、各個人の端末にも送り、いつでも見たい時にふり返り、個別の学びに活かせるようにしておく。